

不二製油グループ サステナビリティレポート2022 ESGデータブック

【集計期間に関して】

- ・「年」表記は、当該年1月1日から12月31日としています。
- ・「年度」表記については、不二製油グループ本社および国内グループ会社は当該年4月1日～翌年3月31日、海外グループ会社は当該年1月1日～12月31日を原則としています。

環境											
データ		範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報（使用した基準・方法・前提条件など）
梱包に使用した原材料		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	-	124,406	36,909	ton	301-1	原材料の種類：梱包用資材（紙、ボール紙、プラスチックなど）
エネルギー総消費量		不二製油グループ	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	8,469,392	8,190,484	9,194,154	8,797,343	8,678,068	GJ	302-1	・2016年、2017年は再生可能エネルギー消費量を把握していないため、データに含めない。 ・使用した変換係数の情報源：温室効果ガス排出量・報告マニュアル（環境省）、US EPA
エネルギー源別 内訳	非再生可能エネルギー消費量	不二製油グループ	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	8,469,392	8,150,453	9,008,335	8,520,155	8,330,666	GJ	302-1	
	再生可能エネルギー消費量	不二製油グループ	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	40,031	185,819	277,188	347,402	GJ	302-1	前提条件：再生可能エネルギー源のうち、太陽光やバイオマスについては発電した電気および蒸気を発熱量【GJ】に換算して算定。
地域別内訳	日本	国内グループ会社	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	3,343,953	3,316,440	3,222,591	3,042,350	2,876,950	GJ	302-1	
	海外	海外グループ会社	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	5,125,439	4,874,044	5,971,563	5,754,993	5,801,118	GJ	302-1	
エネルギー原単位		不二製油グループ	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	4.45	4.26	4.18	4.14	3.96	GJ/ton	302-3	・生産量1ton当たりのエネルギー消費量 ・エネルギーの種類は以下のとおり。 燃料（例：都市ガス、天然ガス、LPG）、電気、蒸気 ・組織内のエネルギー消費量に限る。
スコープ別内訳	スコープ1	不二製油グループ	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	249,441	231,821	216,226	202,777	202,604	t-CO <sub>2</sub>	305-1	・計算に用いたガス：CO <sub>2</sub> ・基準年：2016年 ・使用した排出係数の情報源：温室効果ガス排出量・報告マニュアル（環境省） ・使用した基準、方法、計算ツール：省エネ法、温室効果ガス排出量・報告マニュアル（環境省）
	スコープ2	不二製油グループ	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	221,558	206,832	221,793	209,520	201,157	t-CO <sub>2</sub>	305-2	・計算に用いたガス：CO <sub>2</sub> ・基準年：2016年 ・使用した排出係数の情報源：IEA、温室効果ガス排出量・報告マニュアル（環境省）、US EPA、A Clearer View of Ontario's Emissions (TAF)、Corporate Inventories (MSTI) ・使用した基準、方法、計算ツール：省エネ法、温室効果ガス排出量・報告マニュアル（環境省） ・日本国内のデータはマーケット基準、海外グループ会社はロケーション基準
	スコープ3 (カテゴリ1)	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	-	2,767,179	2,611,435	t-CO <sub>2</sub>	305-3	・計算に用いたガス：CO <sub>2</sub> ・基準年：2016年 ・使用した排出係数の情報源：カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム、IDEA、3 EID、Wilmar International Ltd.の公開情報 ・使用した基準、方法、計算ツール：サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（環境省、経済産業省） ・前提条件：カテゴリ1のみ。オーストラリアのグループ会社1社、中国のグループ会社1社を除く。

環境											
データ		範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報 (使用した基準・方法・前提条件など)
CO <sub>2</sub> 排出量総量		不二製油グループ	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	470,999	438,654	438,019	412,297	403,761	t-CO <sub>2</sub>	305-1 305-2	前提条件：スコープ1、2のみ
地域別内訳	日本	国内グループ会社	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	167,584	161,557	156,342	144,526	137,573	t-CO <sub>2</sub>	305-1 305-2	
	海外	海外グループ会社	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	303,415	277,097	281,677	267,771	266,188	t-CO <sub>2</sub>	305-1 305-2	
温室効果ガス（GHG）排出原単位		不二製油グループ	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	0.248	0.228	0.199	0.194	0.184	t-CO <sub>2</sub> /ton	305-4	・原単位計算のため組織が分母として選択した指標：生産量(ton) ・原単位に含まれるGHG排出の種類：スコープ1、スコープ2 ・計算に用いたガス：CO <sub>2</sub>
オゾン層破壊物質（ODS）排出量		不二製油グループ	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	-	N/A	N/A	-	305-6	2021年度、グループ会社においてオゾン層破壊物質（ODS）の生産、 輸入、輸出は行っていないことを確認しました。
NOx排出量		国内グループ会社	年 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	87.7	89.7	81.9	50.5	52.0	ton	305-7	・使用した排出係数の情報源：環境報告ガイドライン【参考資料】（環 境省） ・使用した基準、方法：環境報告ガイドライン【参考資料】（環境省）
全ての地域からの総取水量		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	5,105	4,717	4,980	4,754	4,714	千kL	303-3	
取水源別内訳	地表水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	553	287	476	千kL	303-3	
	地下水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	2,377	2,287	1,850	千kL	303-3	
	海水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	262	262	145	千kL	303-3	
	生産随伴水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	0	0	41	千kL	303-3	
	第三者の水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	1,789	1,918	2,202	千kL	303-3	
水リスクを伴う全ての地域からの総取水量		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	299	397	369	千kL	303-3	不二製油グループでは、グループ各社が実施する重要リスクの特定、対応 策立案・実施、評価・改善などのリスクマネジメントのPDCA活動を実施し ています。さらに、世界資源研究所（WRI）のAquaductによる分析結 果として、「Overall Water Risk」が「Extremely High」に該当したグ ループ会社の水リスクを評価し、洪水リスクを重要リスクとして新たに認識 し、水リスク地域として追加しました。
水リスクを伴う全ての地域からの総取水量の割合		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	6.0	8.4	7.8	%	-	

環境											
データ		範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報 (使用した基準・方法・前提条件など)
水リスクを伴う 全ての地域の 取水源別内訳	地表水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	0	0	0	千kL	303-3	
	地下水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	299	372	0	千kL	303-3	
	海水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	0	0	0	千kL	303-3	
	生産随伴水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	0	0	0	千kL	303-3	
	第三者の水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	0	25	369	千kL	303-3	
水使用量（原単位）		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	2.68	2.45	2.27	2.23	2.15	kL/ton	-	・生産量1ton当たりの水使用量 ・環境ビジョン2030の「水使用量」はGRIの「取水量」と同義です。
全ての地域の総排水量		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	3,085	2,962	3,376	3,082	2,898	千kL	303-4	
排水先別内訳	地表水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	499	361	247	千kL	303-4	
	地下水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	0	0	0	千kL	303-4	
	海水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	262	262	145	千kL	303-4	
	第三者の水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	2,615	2,459	2,506	千kL	303-4	
水リスクを伴う全ての地域への総排水量		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	162	192	206	千kL	303-4	不二製油グループでは、グループ各社が実施する重要リスクの特定、対応策立案・実施、評価・改善などのリスクマネジメントのPDCA活動を実施しています。さらに、世界資源研究所（WRI）のAquaductによる分析結果として、「Overall Water Risk」が「Extremely High」に該当したグループ会社の水リスクを評価し、洪水リスクを重要リスクとして新たに認識し、水リスク地域として追加しました。
水リスクを伴う全ての地域への総排水量の割合		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	4.80	6.23	7.12	%	303-4	

環境											
データ		範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報 (使用した基準・方法・前提条件など)
水リスクを伴う 全ての地域の 排水先別内訳	地表水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	0	0	0	千kL	303-4	
	地下水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	0	0	0	千kL	303-4	
	海水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	0	0	0	千kL	303-4	
	第三者の水	不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	162	192	206	千kL	303-4	
全ての地域での総水消費量		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	2,020	1,755	1,604	1,672	1,815	千kL	303-5	水消費量=総取水量-総排水量
水リスクを伴う全ての地域での総水消費量		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	-	-	156	205	163	千kL	303-5	・水消費量=総取水量-総排水量 ・不二製油グループでは、グループ各社が実施する重要リスクの特定、対応策立案・実施、評価・改善などのリスクマネジメントのPDCA活動を実施しています。さらに、世界資源研究所（WRI）のAquaductによる分析結果として、「Overall Water Risk」が「Extremely High」に該当したグループ会社の水リスクを評価し、洪水リスクを重要リスクとして新たに認識し、水リスク地域として追加しました。
廃棄物総排出量		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	44,352	43,639	44,511	43,150	44,097	ton	306-3	・国内グループ会社：マニフェスト伝票掲載の廃棄物量 ・前提条件：有価売却や無償引き取りの廃棄物は除く。 ・オーストラリアのグループ会社1社を除く。 ・海外廃棄物総排出量について集計区分を見直し、2020年以前の数値を修正しています。
地域別内訳	日本	国内グループ会社	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	18,529	19,742	19,461	17,067	17,922	ton	306-3	
	海外	海外グループ会社	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	25,823	23,896	25,050	26,084	26,175	ton	306-3	海外廃棄物総排出量について集計区分を見直し、2020年以前の数値を修正しています。
廃棄物排出量（原単位）		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	23.3	22.7	20.3	20.3	20.1	kg/ton	-	・生産量1ton当たりの廃棄物排出量 ・海外廃棄物総排出量について集計区分を見直し、2020年以前の数値を修正しています。
処分されなかった廃棄物		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	32,326	26,335	26,916	21,853	19,949	ton	306-4	・一部、焼却（エネルギー回収）された廃棄物も含む。 ・海外廃棄物総排出量について集計区分を見直し、2020年以前の数値を修正しています。
処分された廃棄物		不二製油グループ	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	12,026	17,304	17,594	21,297	24,148	ton	306-5	
廃棄物再資源化率		国内グループ会社	年度 2021年度以降：当該年 4月1日～翌年3月31日	99.96	99.33	99.33	99.37	99.47	%	-	
ISO14001認証取得状況		不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	-	-	-	-	-	<a href="https://www.fujioiholdings.com/sustainability/authe/">https://www.fujioiholdings.com/sustainability/authe/</a>
地域別内訳	国内工場の取得率	国内グループ会社	年度	-	-	40	50	50	%	-	生産拠点のISO14001認証取得率
	海外グループ会社の取得率	海外グループ会社	年度	-	-	29	41	41	%	-	

社会											
データ		範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報 (使用した基準・方法・前提条件など)
人権インパクトアセスメントの対象としたグループ会社の総数		不二製油グループ	年度	-	-	-	37	-	社	412-1	人権インパクトアセスメントは、人権デュー・ディリジェンスの一環として実施。
人権インパクトアセスメントの対象としたグループ会社の割合		不二製油グループ	年度	-	-	-	95	-	%	412-1	
人権に関する教育を受けた従業員の割合		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	100	100	100	%	412-2	人権週間を通して、不二製油グループ本社および不二製油 (株) の全ての従業員を対象に、ビジネスと人権に関する情報発信を行いました。
従業員数		不二製油グループ	年度末時点	-	5,963	5,874	5,679	5,623	名	102-8	国内、海外ともに3月31日時点の従業員数。
男女別	男性	不二製油グループ	年度末時点	-	4,598	4,579	4,447	4,387	名	102-8 405-1	
	女性	不二製油グループ	年度末時点	-	1,365	1,295	1,232	1,236	名	102-8 405-1	
地域別	日本	国内グループ会社	年度末時点	-	1,883	1,903	1,714	1,705	名	102-8	
	欧米	欧州および米州の グループ会社	年度末時点	-	1,849	1,862	1,826	1,885	名	102-8	
	アジア	アジアのグループ会社	年度末時点	-	2,231	2,109	2,139	2,033	名	102-8	
管理職数 総数		不二製油グループ	年度末時点	-	854	880	880	844	名	-	国内、海外ともに3月31日時点の管理職数。
地域・男女別	日本 (男性)	国内グループ会社	年度末時点	-	361	336	307	297	名	-	
	日本 (女性)	国内グループ会社	年度末時点	-	37	40	34	37	名	-	
	欧米 (男性)	欧州および米州の グループ会社	年度末時点	-	161	178	172	192	名	-	
	欧米 (女性)	欧州および米州の グループ会社	年度末時点	-	61	75	78	83	名	-	
	アジア (男性)	アジアのグループ会社	年度末時点	-	174	183	208	164	名	-	
	アジア (女性)	アジアのグループ会社	年度末時点	-	60	68	81	71	名	-	
海外グループ会社社長の現地化比率		欧州および米州の グループ会社	年度末時点	-	-	-	75	75	%	202-2	3月31日時点。連結子会社対象、国内グループ会社は除く。
		アジアのグループ会社	年度末時点	-	-	-	43	31	%	202-2	3月31日時点。連結子会社対象、国内グループ会社は除く。
女性管理職比率		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	毎年4月時点	5.52	7.02	9.36	10.54	11.26%	%	-	
正社員新規採用者 総数		不二製油グループ	年度末時点	-	-	785	615	958	名	401-1	国内、海外ともに3月31日時点の採用者数。
地域別	日本	国内グループ会社	年度末時点	-	-	69/8.8	58/9.4	84/8.8	名/%	401-1	地域別新規採用者数と総数に占める割合 (以降同様)
	欧米	欧州および米州の グループ会社	年度末時点	-	-	502/63.9	328/53.3	534/55.7	名/%	401-1	
	アジア	アジアのグループ会社	年度末時点	-	-	214/27.3	229/37.2	340/35.5	名/%	401-1	
日本 正社員新規採用者 総数		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	48	64	53	49	74	名	401-1	採用時の社員区分が組合員 + 管理職で抽出。
男女別	男性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	34/70.8	40/62.5	34/64.2	38/77.6	59/79.7	名/%	401-1	男女別正社員新規採用者数と総数に占める割合 (以降同様)
	女性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	14/29.2	24/37.5	19/35.8	11/22.4	15/20.3	名/%	401-1	
採用種類別	新卒	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	30/62.5	34/53.1	36/67.9	28/57.1	32/43.2	名/%	401-1	採用種類別正社員新規採用者数と総数に占める割合 (以降同様)
	中途	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	18/37.5	30/46.9	17/32.1	21/42.9	42/56.8	名/%	401-1	

社会											
データ	範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報 (使用した基準・方法・前提条件など)	
正社員離職者 総数	不二製油グループ	年度末時点	-	-	718	470	633	名	401-1	2020年度データより離職者の定義を変更したため、2019年度と比べ人数に差異が生じています。	
地域別	日本	国内グループ会社	年度末時点	-	-	74/10.3	35/7.4	48/7.6	名/%	401-1	地域別離職者数と総数に占める割合 (以降同様)
	欧米	欧州および米州のグループ会社	年度末時点	-	-	414/57.7	216/46.0	302/47.7	名/%	401-1	
	アジア	アジアのグループ会社	年度末時点	-	-	230/32.0	219/46.6	283/44.7	名/%	401-1	
日本 正社員離職者 総数	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	30	19	32	名	401-1		
男女別	男性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	23/76.7	13/68.4	28/87.5	名/%	401-1	男女別正社員離職者数と総数に占める割合 (以降同様)
	女性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	7/23.3	6/31.6	4/12.5	名/%	401-1	
勤続平均年数	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度末時点	-	-	17.8	17.7	17.5	年	-		
介護休暇利用者数	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	2	0	3	1	7	名	-		
年次有給取得率	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	2019年度まで： 前年12月11日～当該年 12月10日 2020年度以降： 当該年4月1日～翌年3 月31日	59.3	63.2	76.6	69.4	69.1	%	-		
従業員一人当たり実働時間	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	2018年度まで： 当該年3月11日～ 翌年3月10日 2019年度： 2019年3月11日～ 2020年3月31日 2020年度以降： 当該年4月1日～翌年3 月31日	159.3	159.1	156.5	158.3	158.4	時間/月	-		
従業員一人当たり月平均残業時間	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	2018年度まで： 当該年3月11日～ 翌年3月10日 2019年度： 2019年3月11日～ 2020年3月31日 2020年度以降： 当該年4月1日～翌年3 月31日	16.4	17	16.8	16.3	17	時間/月	-		
再雇用者数	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	毎年4月時点	-	-	85	91	97	名	-		
再雇用率	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	83.9	87	95.6	%	-	当該年度9月末と3月末時点の定年退職者合計の正社員の再雇用率。	
障がい者雇用数	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	30	34	35	33	33	名	-	年度の平均値	
障がい者雇用率	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	1.77	2.08	2.16	2.03	2.05	%	-	年度の平均値	

社会											
データ		範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報 (使用した基準・方法・前提条件など)
時短勤務者数		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	18	25	31	37 (※)	35	名	-	年度内の時短・短縮勤務の適用を開始した人 (※2020年度 男性1名含む)
当該年度に子が出生した従業員数		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	79	62	57	65	55	名	401-3	・a「育児休暇を取得する権利を有していた従業員の総数」 (年度内に子が出生した人) ・「育児休暇取得者」とは対象に年度によるずれなどが生じる。
男女別	男性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	62	47	45	51	44	名	401-3	子の出生時点で入社していない者も、当該年度中に入社している場合は 集計に含める。
	女性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	17	15	12	14	11	名	401-3	
育児休暇を取得した従業員の総数		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	39	36	56	49	43	名	401-3	b「育児休暇を取得した従業員の総数」 (年度内に育児休暇を開始した人)
男女別	男性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	24	20	41	37	32	名	401-3	同一の子に対する2回目の取得は集計に含めない。 (同一年度、年度跨ぎ、いずれも排除)
	女性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	15	16	15	12	11	名	401-3	
育児休暇から復職後に在籍している従業員の総数		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	38	34	56	49	48	名	401-3	・c「報告期間中に育児休暇から復職した従業員の総数」(年度内に育 児休暇を終了した人) ・2019年度以前は育児休暇取得者を算出していたが、2020年度より育 児休暇終了者を算出することとした。
男女別	男性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	23	19	41	37	32	名	401-3	
	女性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	15	15	15 (※)	12	16	名	401-3	
育児休暇後の従業員の復職率		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	100	100	100	100	100	%	401-3	復職率% = 当該年度復職した人 / 当該年度復職予定の人
男女別	男性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	100	100	100	100	100	%	401-3	
	女性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	100	100	100	100	100	%	401-3	
育児休暇後の従業員の定着率		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	97	94	100	100	97	%	401-3	・d「育児休暇から復職後、12ヶ月経過時点で在籍している従業員の総 数」 (前年報告対象者(前年c「報告期間中に育児休暇から復職した従業 員の総数」)の中で、12ヶ月経過した時点で在籍した人) 定着率% = 当該年度(d) / 前年度(c) ・2019年度以前は育児休暇取得者を算出していたが、2020年度より育 児休暇終了者を算出することとした。
男女別	男性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	96	95	100	100	97	%	401-3	
	女性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	100	94	100	100	100	%	401-3	

社会											
データ		範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報 (使用した基準・方法・前提条件など)
正社員一人あたりの年間平均研修時間		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	7.5	10.0	7.0	時間	404-1	集計対象：人事部門主催の研修に参加した正社員
正社員一人当たりの教育研修費		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	22,378	13,724	15,102	円	-	
業績とキャリア開発に関して定期的なレビューを受けている 正社員の割合		不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	100	100	100	%	404-3	
男女別	男性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	100	100	100	%	404-3	
	女性	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	100	100	100	%	404-3	
従業員千人当たり休業災害者数 (休業災害4日以上)		不二製油グループ	年	3.9	3.3	2.9	4.7	3.3	名	-	
労働災害度数率推移		不二製油グループ	年	5.56	4.65	6.82	7.49	6.27	労働災害による 被災者数 /100万延労働時間	403-9	
地域別	日本	国内グループ会社	年	4.91	3.72	2.89	4.03	3.84	労働災害による 被災者数 /100万延労働時間	403-9	
	海外	海外グループ会社	年	5.93	5.09	8.62	9.00	7.33	労働災害による 被災者数 /100万延労働時間	403-9	
労働災害強度率推移		不二製油グループ	年	0.0721	0.037	0.049	0.645	0.054	労働時間喪失日数 /1,000延労働時間	-	
地域別	日本	国内グループ会社	年	0.019	0.018	0.006	0.004	0.036	労働時間喪失日数 /1,000延労働時間	-	
	海外	海外グループ会社	年	1.117	0.037	0.068	0.924	0.062	労働時間喪失日数 /1,000延労働時間	-	
従業員における労働関連の傷害による死亡者数		不二製油グループ	年	-	-	0	1	0	名	403-9	
従業員における労働関連の傷害による死亡者の割合		不二製油グループ	年	-	-	0	0.014	0	%	403-9	
労働安全衛生マネジメント認証 (OHSAS18001、ISO 45001 2018) 取得グループ会社一覧		不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	-	-	-	-	-	<a href="https://www.fujioiholdings.com/sustainability/authen/">https://www.fujioiholdings.com/sustainability/authen/</a>
健康診断対象者数		不二製油 (株) および 受診義務出向者	年度	1,418	1,464	1,505	1,527	1,482	名	-	
詳細	受診者数	不二製油 (株) および 受診義務出向者	年度	1,418	1,464	1,505	1,527	1,482	名	-	
	受診率	不二製油 (株) および 受診義務出向者	年度	100	100	100	100	100	%	-	
	二次検診受診率	不二製油 (株) および 受診義務出向者	年度	95.9	94.3	94.4	84.4	89.3	%	-	



社会

データ	範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報 (使用した基準・方法・前提条件など)
GFSI承認認証 取得グループ会社数	不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	20	19	19	社	-	
GFSI承認認証 取得率	不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	77	79	76	%	-	
GFSI承認認証取得グループ会社一覧	不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	-	-	-	-	-	<a href="https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/">https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/</a>
HALAL認証取得グループ会社一覧	不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	-	-	-	-	-	<a href="https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/">https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/</a>
KOSHER認証取得グループ会社一覧	不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	-	-	-	-	-	<a href="https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/">https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/</a>
HACCP認証取得グループ会社一覧	不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	-	-	-	-	-	<a href="https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/">https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/</a>
ISO22000認証取得グループ会社一覧	不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	-	-	-	-	-	<a href="https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/">https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/</a>
ISO9001認証取得グループ会社一覧	不二製油グループ	毎年度2月時点	-	-	-	-	-	-	-	<a href="https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/">https://www.fujioilholdings.com/sustainability/authen/</a>
重要な製品カテゴリーのうち、安全衛生インパクトの評価を改善のためにしているものの割合	不二製油 (株)	年度	-	-	100	100	100	%	416-1	
品質リコール・事故発生件数	不二製油グループ	年度		1	0	0	0	件	417-2	
食育プロジェクト 受講者数	不二製油 (株)	年度	584	526	613	366	1,188	名	413-1	
SDGs for School チョコレート協賛授業の受講者数	不二製油グループ本社 および不二製油 (株)	年度	-	-	1,395	320	350	名	413-1	
搾油工場までのトレーサビリティ※	不二製油グループ	上期/下期 (1月~12月)	96/95	98/99	99/100	100/100	100/100	%	-	※当社グループが調達するパーム油のうち、搾油工場までさかのぼることができるものが占める割合
パーム農園までのトレーサビリティ※	不二製油グループ	上期/下期 (1月~12月)	-	-	-	-/71	84/85	%	-	※当社グループが調達するパーム油のうち、パーム農園までさかのぼることができるものが占める割合
パルマジュ エディブル オイル (マレーシア) の全サプライヤーへの労働環境改善プログラム適用率	不二製油グループ	年度	-	-	10	10	27	%		
カカオ栽培地域に対する植樹	不二製油グループ	年度	-	-	-	10,000	100,000	本	-	

## ガバナンス

データ		範囲	集計期間	2017	2018	2019	2020	2021	単位	GRIスタンダード	参考情報 (使用した基準・方法・前提条件など)
取締役 総数		不二製油グループ本社	6月末日時点	-	-	10	9	8	名	405-1	2022: 監査等委員会設置会社へ移行・取締役総数 (監査等委員を含む) 12名 (内監査等委員取締役は3名) - 社外取締役 (監査等委員を含む) 7名 (内独立社外取締役は6名) - 女性取締役 2名
男女別	男性	不二製油グループ本社	6月末日時点	-	-	9	8	7	名	405-1	
	女性	不二製油グループ本社	6月末日時点	-	-	1	1	1	名	405-1	
独立社外取締役		不二製油グループ本社	6月末日時点	2	2	3	3	3	名	102-22	
社外取締役		不二製油グループ本社	6月末日時点	2	2	3	3	4	名	102-22	
取締役任期		不二製油グループ本社	6月末日時点	1	1	1	1	1	年	102-22	
取締役会議長		不二製油グループ本社	6月末日時点	取締役社長	取締役社長	取締役社長	取締役社長	取締役社長	-	102-23	
取締役会 開催回数		不二製油グループ本社	年度	16	16	20	16	16	回	-	
社外取締役の取締役会出席率		不二製油グループ本社	年度	100	100	100	100	100	%	-	
監査役会 総数		不二製油グループ本社	6月末日時点	4	4	4	4	4	名	405-1	
男女別	男性	不二製油グループ本社	6月末日時点	11	12	13	12	11	名	405-1	
	女性	不二製油グループ本社	6月末日時点	1	1	1	1	1	名	405-1	
常勤監査役		不二製油グループ本社	6月末日時点	2	2	2	2	2	名	102-24	
独立社外監査役		不二製油グループ本社	6月末日時点	2	2	2	2	2	名	102-24	
監査役任期		不二製油グループ本社	6月末日時点	4	4	4	4	4	年	102-22	
監査役会 開催回数		不二製油グループ本社	年度	12	12	13	12	16	回	-	
常勤監査役の監査役会出席率		不二製油グループ本社	年度	100	100	100	100	100	%	-	
独立社外監査役の監査役会出席率		不二製油グループ本社	年度	100	100	100	100	100	%	-	
取締役 (社外取締役除く) 報酬等の総額		不二製油グループ本社	年度	274 (10名)	299 (8名)	296 (7名)	238 (8名)	178 (6名)	百万円	102-35	
監査役 (社外監査役除く) 報酬等の総額		不二製油グループ本社	年度	44 (3名)	52 (2名)	54 (2名)	54 (3名)	54 (2名)	百万円	102-35	
社外取締役 社外監査役 報酬等の総額		不二製油グループ本社	年度	41 (4名)	43 (5名)	51 (6名)	54 (6名)	58 (7名)	百万円	102-35	
報告期間中に生じた差別事例の総件数		国内グループ会社	年度	-	-	3	2	2	件	406-1	内部通報制度で寄せられたハラスメントの数
社会経済分野の法規制の違反により組織が受けた重大な罰金		不二製油グループ	年度	-	-	0	0	0	円	419-1	
社会経済分野の法規制の違反により組織が受けた重大な罰金以外の制裁措置		不二製油グループ	年度	-	-	0	0	0	件	419-1	
腐敗防止に関する組織の方針や手順の伝達対象となったガバナンス機関メンバーの総数/割合		不二製油グループ本社	年度末時点	-	-	10/100	9/100	8/100	名/%	205-2	「贈収賄防止基本規程」の適用範囲はグループ会社全役員・従業員であり100%
腐敗防止に関する方針や手順の伝達対象となった従業員の総数/割合		不二製油グループ	年度	-	-	5,874 /100	5,679 /100	5,623 /100	名/%	205-2	「贈収賄防止基本規程」の適用範囲はグループ会社全役員・従業員であり100%
地域別	日本	国内グループ会社	年度	-	-	1,903 /100	1,714 /100	1,705 /100	名/%	205-2	「贈収賄防止基本規程」の適用範囲はグループ会社全役員・従業員であり100%
	欧米	欧州および米州のグループ会社	年度	-	-	1,862 /100	1,826 /100	1,885 /100	名/%	205-2	「贈収賄防止基本規程」の適用範囲はグループ会社全役員・従業員であり100%
	アジア	アジアのグループ会社	年度	-	-	2,109 /100	2,139 /100	2,033 /100	名/%	205-2	「贈収賄防止基本規程」の適用範囲はグループ会社全役員・従業員であり100%
確定した腐敗事例の総数		不二製油グループ	年度	-	-	0	0	0	件	205-3	



## 温室効果ガス排出量 検証報告書

2022年7月6日

不二製油グループ本社株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会  
地球温暖化対策センター  
上級経営管理者 平川 雅宏



### 1. 検証の対象及び目的

不二製油グループ本社株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象<sup>※1</sup>における排出量算定結果「2021年度データ CO<sub>2</sub>排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2021年（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

#### 1) スコープ1 温室効果ガス排出量

算定対象において事業者が使用したエネルギーの使用に伴って排出される CO<sub>2</sub> 排出量

#### 2) スコープ2 温室効果ガス排出量

算定対象において使用した電力、熱の使用に伴って排出される CO<sub>2</sub> 排出量

検証の目的は、算定方法に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

### 2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG 排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

温室効果ガス排出量 検証報告書	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター 〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22	頁数	1 / 3
--------------------	---	----	-------



### 3. 検証の結論

算定報告書に記載された2021年の温室効果ガス排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

#### NOTE:

※1：国内：不二製油株式会社 阪南事業所、不二製油株式会社 千葉工場、不二製油株式会社 関東工場

海外：フジオイル(シンガポール)、ウッドランド サニーフーズ、  
パルマジュ エディブル オイル、不二制油(張家港)有限公司、天津不二蛋白有限公司、  
フジ ベジタブル オイル、ブラマー チョコレート カンパニー (シカゴ 工場)、  
ブラマー チョコレート カンパニー (イースト グリーンビル 工場)

※2：上記算定対象の検証された温室効果ガス排出量は別紙を参照

以上

温室効果ガス排出量 検証報告書	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター 〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22	頁数	2 / 3
--------------------	---	----	-------



## 温室効果ガス排出量 検証報告書

2022年7月25日

不二製油グループ本社株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会  
地球温暖化対策センター  
上級経営管理者 平川 雅宏



### 1. 検証の対象及び目的

不二製油グループ本社株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象<sup>※1</sup>における排出量算定結果「2021年度データ CO<sub>2</sub>排出量算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2021年度（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の以下の温室効果ガス（GHG）排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

#### 1) スコープ3 温室効果ガス排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ3 カテゴリ1<sup>※2</sup>において排出されるCO<sub>2</sub>排出量

検証の目的は、算定方法<sup>※3</sup>に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

### 2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従って検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する、算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- GHG排出量の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

温室効果ガス排出量 検証報告書	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター 〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22	頁数	1 / 3
--------------------	---	----	-------



### 3. 検証の結論

算定報告書に記載された2021年度の温室効果ガス排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

#### NOTE:

※1：国内：不二製油株式会社、フジフレッシュフーズ株式会社、オーム乳業株式会社、株式会社エフアンドエフ

海外：フジオイル(シンガポール)、ウッドランド サニーフーズ、バルマジュ エディブル オイル、フジオイル(タイランド)、フレイアパディ インドタマ、フジ グローバル チョコレート (M)、不二制油 (張家港) 有限公司、不二制油 (肇慶) 有限公司、天津不二蛋白有限公司、巴洛美巧克力製造 (上海) 有限公司、フジ ベジタブル オイル、ブラマー チョコレート カンパニー、ハラルド、フジオイル ヨーロッパ、フジオイル ガーナ

※2：カテゴリ1（購入した製品・サービス）：主な製品の原料及び容器包装を対象

※3：「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン (ver.2.3)」、及び、事業者が作成した「スコープ3 カテゴリ1 算定手順書」  
排出原単位は、カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム ver.1.04、カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム (IDEA ver.1.1)、3EID、Wilmar Sustainability Report 2017 を使用

※4：上記算定対象の検証された温室効果ガス排出量は別紙を参照

以上

温室効果ガス排出量 検証報告書	一般社団法人日本能率協会 地球温暖化対策センター 〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22	頁数	2 / 3
--------------------	---	----	-------